

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	年金・相談活動事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	農業委員会事務局			課	農業委員会事務局		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	22.農を守り、生かすまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	1971(S46)年度	年度	~		年度まで
根拠法令等	独立行政法人農業者年金基金法				
関係補助金名称			サンセット		~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内農家(農地を持っていない農業者、配偶者や後継者などの家族従事者も加入することができる)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	農業者に経済的な不安がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	年金・相談事業の実施により、市内農業者の福祉が向上し、安心して営農できる環境となる。				
事業概要	①年金事業諸届等の受付、確認及び基金への送付。 ②農業者からの農地法、税制度にかかる相談。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル						年金事業諸届等の確認後、基金へ送達する。				年金・相談事業のPR			
指標設定	指標説明					新規加入者数				年金・相談活動事業周知回数			
	指標種類	単位				単位 人				単位 回			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					2	2	2	2	3	3	3	3
	実績					0				3			
	達成度					0%				100%			
分析						新規就農者4人に働きかけたが、加入に至らなかった。				想定通りであった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,783	802	798	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	2,783	802	798	
	物件費計	0	5	0	26	—
	歳出計	2,783	807	798		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	157	142	0	0	
	歳入計	157	142	0	0	
一般財源		2,626	665	0	26	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	農業者年金制度の周知を図り、加入推進に努めたが、新規加入には至らなかった。 ①年金事業諸届等の受付、確認及び基金への送付件数 23件 ②農業者からの相談件数 0件
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	農業者年金加入対象者に対し、情報提供や相談活動など加入に向けた取り組みを行う。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	農業委員会運営事務												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	農業委員会事務局				課	農業委員会事務局		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標		22.農を守り、生かすまち										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	1951 (S26) 年度		年度	~	年度まで		
根拠法令等	農地法、農業委員会等に関する法律						
関係補助金名称				サンセット	~		
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	農業委員会					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	事務局として農業委員会の円滑な運営を行う必要がある。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	円滑に農業委員会が運営されている。						
事業概要	①農業委員会等会議運営に関する事務・委員会総会、常任委員会、協議会の開催とそれに伴う議案書、資料、会議録作成・現地調査による遊休農地、無断転用等の発見・指導。 ②農業振興に関すること・農業振興協議会及び農業再生協議会・市への農業振興に関する提言。						

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						市内の農地の遊休化の防止・解消が図られる。				農業委員会活動として、遊休農地発生防止・解消のため「農地パトロール」を実施する。				
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明				遊休農地解消面積				農地パトロール実施回数					
	単位				単位				単位					
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)						3,000	3,000	3,000	3,000	3	3	3	3
実績						1,380				3				
達成度				46%				100%						
分析				全てを解消できなかったが、新たな遊休農地の発生はなかった。				想定通りであった。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	24,251	16,034	15,950	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	10,266	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	34,517	16,034	15,950	
	物件費計	526	1,201	491	1,423	35%
歳出計		35,043	17,235	16,441		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	2,196	2,355	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	2,196	2,355	0	0	
一般財源		32,847	14,880	491	1,423	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<p>緊急事態宣言下における各種会議や研修会の開催、農地パトロール等の実施について、柔軟に取り組むことが出来た。</p> <p>①農業委員会総会 13回、常任委員会 16回、協議会 13回、研修会 2回          ・農地パトロール(利用状況調査) 9月～11月 ○違反転用 なし ○遊休農地 年度当初0.25ha、解消0.14ha、年度末0.12ha</p> <p>②農業振興協議会、農業再生協議会 各1回、事務局会議 4回</p>
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	各種研修会等を活用し、農地の権利調整や農地利用の最適化の推進、農業一般に関する調査及び情報の提供など、公正・公明な委員会の運営に努める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	農用地利用集積事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	農業委員会事務局				課	農業委員会事務局		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標		22.農を守り、生かすまち										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	1987(S62)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	農地を貸す人:枚方市内に農地を所有する市内、市外の人 農地を借りる人:枚方市内の農地を借りて耕作する意欲のある、市内・市外の農家と準農家 ※準農家:一定水準の農業技術を有し、小規模な農地を継続的に耕作し農産物の販売を目指す新規参入者				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	農地を貸したい人と借りたい人それぞれについて、マッチングを行う機会や場が少ない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	農地の貸し借りが活発に行われ、遊休農地が減少し、市内農業が活性化し継続的な営農ができています。					
事業概要	利用権設定等促進事業の推進のため、担い手への農地の利用集積の進め方など本事業の普及・啓発活動を行う。農業委員、農地利用最適化推進委員等の農業者に対して各種会議や研修会を開催、事業の説明、PR資料配布、情報交換等を行い、地域内で掘り起こし活動をして農地の貸し手、借り手の利用関係を調整する。					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	市内農業が活性化し継続的な営農ができる。	農地の貸し借りが活発に行われ、遊休農地の利用発生の防止、遊休農地が減少する。	各種会議や研修会を開催、事業の説明、PR資料配布、情報交換等を行い、地域内で掘り起こし活動を実施する。	
指標設定	指標説明	利用権新規設定面積	農地貸借希望台帳登載件数(前年度からの増加分) 貸したい…面積 ( )借りたい…人数	周知実施回数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 m <sup>2</sup>	単位 m <sup>2</sup> (人)	単位 回
	目標(見込み)	R2 20,000 R3 20,000 R4 20,000 R5 20,000	R2 5000(3) R3 5000(3) R4 5000(3) R5 5000(3)	R2 3 R3 3 R4 3 R5 3
	実績	19,426	9,964	3
	達成度	97%	199%	100%
	分析	概ね想定通りであった。	各委員の活動により、想定よりも多く登載出来た。	想定通りであった。

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,373	3,207	3,190		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	4,373	3,207	3,190		
	物件費計	102	125	99	150	66%	
	歳出計	4,475	3,332	3,289			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		4,475	3,332	99	150		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<p>本事業は「農地銀行」という名称で取り組んでいるが、まだ制度を知らない農家もいることから、引き続き周知を図る必要がある。</p> <p>○利用権設定面積:新規設定19,426㎡、再設定46,542㎡、年度末時点326,669㎡、前年比2,053㎡(0.6%)増加</p> <p>○貸借希望台帳:(貸し手)新規11,572㎡、年度末時点34,429㎡、前年比9,964㎡(40.7%)増加、(借り手)新規1人、年度末時点20人、前年比1人増加</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	地域の実態に応じた活動を展開することにより、農地のマッチングを進め、利用権の設定につなげる。また、あらゆる機会を捉えて制度の啓発・周知を図る。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	農業委員会事務局運営事務										
測定年度	2020(R2)年度			部	農業委員会事務局			課	農業委員会事務局		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外									
	施策目標	99.施策体系外									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務	
事業期間	不明		年度	~	年度まで		
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称						サンセット	~
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	農業委員会事務局職員					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	事務局の運営を円滑に図る必要がある。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事務局の運営が円滑に行われている。						
事業概要	課の運営事務 (令和元年度から、農地適正管理システム維持管理事務を編入)						

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
	実績												
	達成度												
	分析												

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	2.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	22,819	16,034	15,950		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	898	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	23,717	16,034	15,950		
	物件費計	551	687	491	743	66%	
歳出計		24,268	16,721	16,441			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	898	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	898	0	0	0		
一般財源		23,370	16,721	491	743		

5. 総括的分析

総括的分析	コロナウイルス感染症に係る事務など他部署の事務応援に従事しながらも、適正に執行した。
-------	--------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も引き続き、適正かつ迅速に執行する。